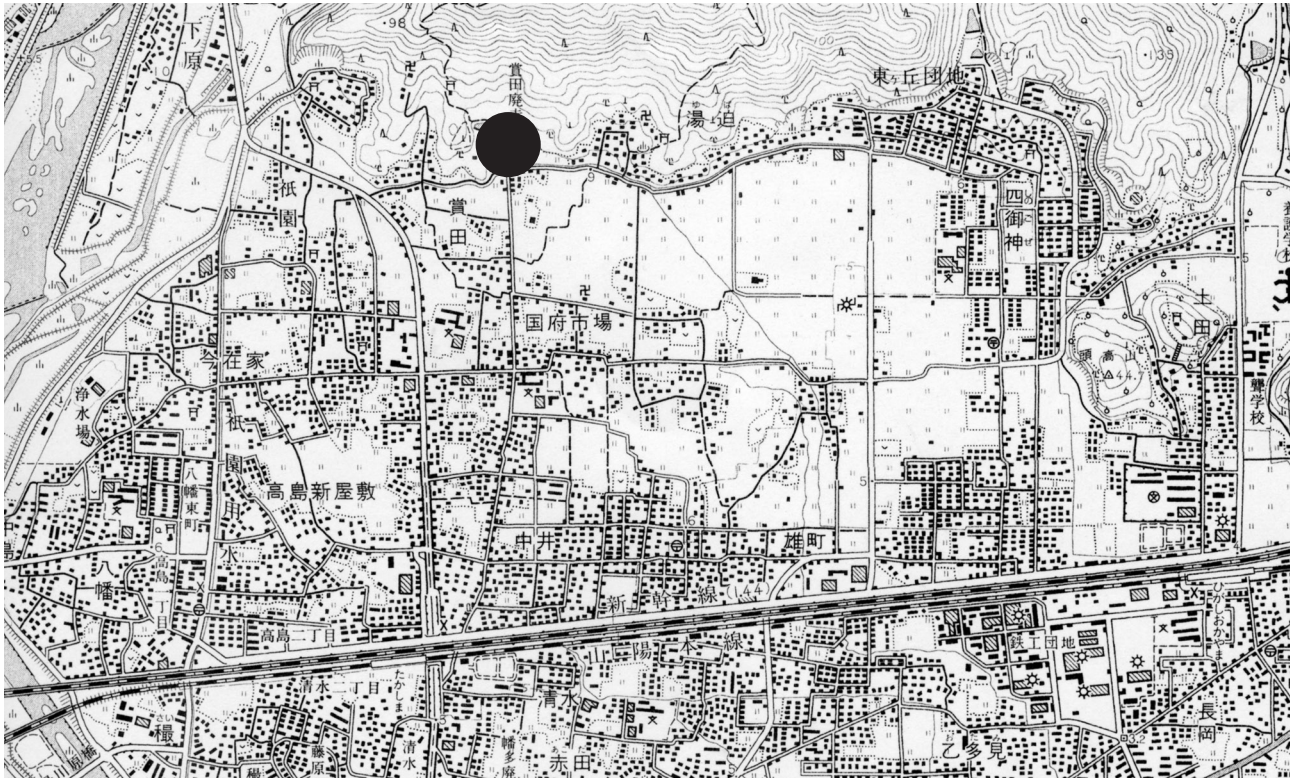


史跡賞田廃寺跡

扇崎 由

【史跡の位置】



S=1/25,000

【史跡の概要】

飛鳥時代（7世紀中頃）に建てられた備前国最古の寺院の一つ。創建建物は不明だが、出土する瓦が少ないことから小堂と推定される。その後、7世紀後半に金堂が、8世紀中頃に凝灰岩製壇正積基壇を持つ東西両塔が建てられ寺域の大整備が図られた。14世紀前半に金堂が消失し廃絶したが、15世紀後半に新しく中世本堂が建てられている。

整備では、金堂・東西両塔・堀跡・中世本堂を展示・復元し、あわせて自然観察池や広場整備などを行っている。

【文献】

出宮徳尚編 1971『賞田廃寺発掘調査報告』岡山市教育委員会

高橋伸二編 2005『史跡賞田廃寺跡』岡山市教育委員会

【交通】

宇野バス四御神線「脇田」下車 すぐ

